

委員会だより (今年度の取り組み)

本庁舎建て替えについて
調査研究していく
総務・教育委員会

本委員会は、5月9日から後期6名の委員による新体制でスタートしました。

委員会において決定した年間活動計画(所管別項目・活動方針・調査研究事項・重点活動テーマ)に基づき活動することとなりますが、前委員会の引き継ぎ・懸案事項を考慮し、次の4点について調査研究してまいります。

- ①公共施設整備のあり方について
- ②防災・減災の取り組みについて
- ③教育行政での懸案事項に対する取り組みについて
- ④行財政改革のあり方について

重点活動テーマは、中・長期的に厳しい財政状況の中、老朽化が顕著な公共施設のうち、特に市役所本庁舎の建て替えについて、将来構想の考え・進め方を調査・研究することとし、10月上旬に先進地の行政視察を計画しています。その後、議会サポーターや各種団体との意見交換会を予定しています。



5月13日に任期満了を迎えた2名の議会市民サポーターについては、その後任を広報のぼりべつ5月号と市議会ホームページにおいて公募しましたが、申し込みがなかったことから、再任2名に加え、さらに、本委員会の重点活動テーマに即した経歴をお持ちの方を迎え、3名体制とすることに決定しました。

(二瓶)

地域包括ケアシステムの構築に向けて
生活・福祉委員会



後期の委員会活動計画は、前期委員会の申し送り事項を引き継ぐとともに、重点活動テーマとして「地域包括ケアシステムの構築に向けて」住み慣れたまちで自分らしい暮らしを続けるために」と題して取り組むこととしました。

2025年以降は、医療や介護の需要がさらに増加することが予想されるため、本市に即した地域包括ケアシステムを構築していくためには、福祉団体や医療機関などの連携状況を把握していくことが重要になります。本委員会としては、①市民・各種団体との意見交換、②サポーター制度の活用、③行政視察の実施、④その他(現地調査、勉強会など)、⑤問題・課題などの整理と対応策(委員間協議→政策提言)を踏まえて活動していきます。

すでに本委員会では、第一弾の取り組みとして、5月29日に兵庫県朝来市地域包括支援センターケアマネジャーの足立里江氏を議会専門的サポーターとして迎え、地域包括ケアシステムの先進事例を学びました。今後先進地への行政視察や各種団体との意見交換を積極的に行いながら、委員間協議のもと市民が望む政策提言ができるよう取り組んでまいります。

(村井)

全市観光に向けた取り組み
観光・経済委員会

観光・経済委員会の所管項目は、①観光経済部の所管に関する事、②農業委員会の所管に関する事、③都市整備部の所管に関する事の3項目です。

年間活動計画の方針の策定において、幾多の重要な所管事項がある中、今後2年間における本委員会の重点活動テーマとして、「全市観光を見据えた観光施策について」を取り上げました。

具体的には、市内の各地域にある潜在的な魅力を掘り起こし、磨きをかけ、それらを活用した新たな観光プログラムを創出すること。また、全市観光に向けた各種事業のあり方を検証し、国際観光レクリエーション都市として誘客促進に資するアイデアなどを提供すること。併せて2020年に民族共生象徴空間の開設を控えた白老町との観光連携を視野に入れた二次交通などのあり方についても調査・研究を進めたいと考えています。

常任委員会として、議会基本条例を順守した委員会運営を行うとともに、市内各種団体との意見交換会、また、先進地の取り組み状況や動向を把握するための行政視察を実施し、本市の実情に即した具体的な政策提言を目指したいと考えています。



(若木)